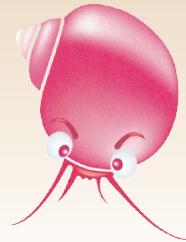


分類	使用可否
一般米	可 ○
飼料米	可 ○
WCS	可 ○

誘引！摂食！速効的！

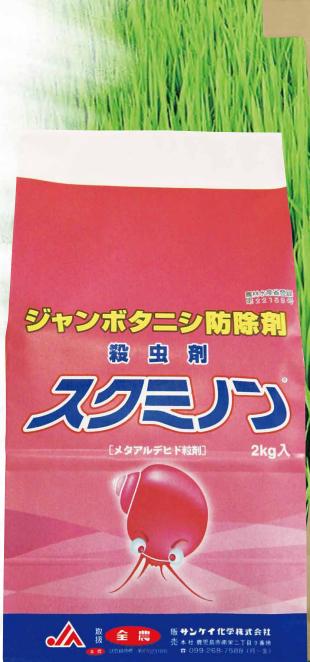
殺虫剤



スクミノン®

メタアルデヒド粒剤

WCS(稲発酵粗飼料)に使用可能!



田植え同時処理でも！



商品説明と田植え同時処理の事例を
動画で説明しておりますので、
ぜひご覧になってください。→



散布から効果発現まで



スクミノンを餌と思い近づきます。



スクミノンを食べます。



数分で麻痺が起こり、殻の中に閉じこもります。



約1日後に致死します。

スクミノンを食べると数分で麻痺が起こり、稲を摂食しなくなります。



サンケイ化学株式会社

®はサンケイ化学(株)の登録商標です。

ジャンボタニシ防除剤 スクミノン®

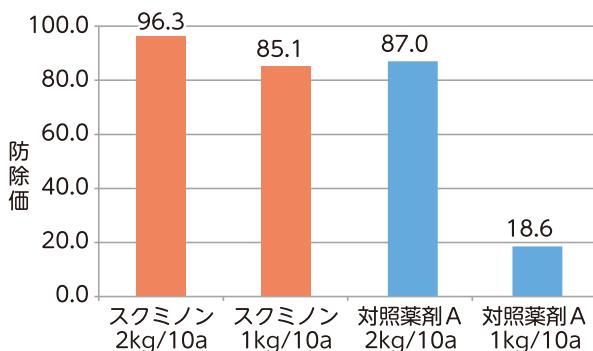


■適用害虫名及び使用方法

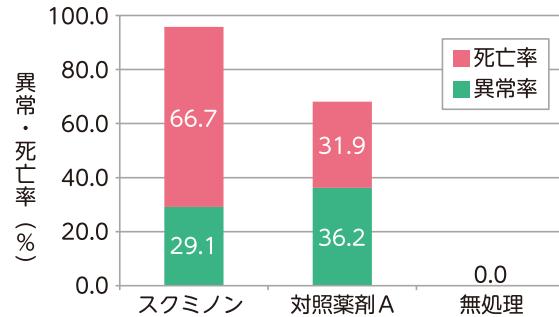
作物名	適用害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む 農薬の総使用回数
稻	スクミリンゴガイ	1~4kg	収穫60日前まで	2回以内	散布又は 無人航空機に による散布	2回以内
れんこん		4kg	収穫45日前まで			

2021年12月8日現在の登録内容

被害防止効果



ベイト摂食後の状態



試験場所：鹿児島県姶良市加治木町 一般生産圃場

実施期間：2014年7月2日～7月9日

対象作物：水稻（品種：ゆめはやと） 6月30日移植

対象害虫：スクミリンゴガイ（殻高2～3cm）

区 制：1区 100m²(10×10m) 連制なし

薬剤処理：7月2日に各区所定量の薬剤を散布

試験方法：移植後、水深5cm以下になるように穴をあけた畔波シート（高さ30cm）で区割りを行った。密度が低かったため、試験区内に殻高2～2.5cmの個体を平方メートルあたり1.8頭放飼した。

調査方法：薬剤処理7日後に各区150株（50株×3箇所）について、食害株数及び欠株数について計数を行った。

<食害度算出方法>

$$\text{食害度} = \{(食害株数} \times 1 + \text{欠株数} \times 3\} / 3 \times \text{調査株数} \times 100$$

試験実施：サンケイ化学(株)

試験場所：鹿児島県南九州市川辺町 一般生産圃場

試験期間：1回目…2014年7月16日～17日

2回目…2014年7月18日～19日

対象害虫：スクミリンゴガイ（殻高2.6～3.0cm主体）

対象植物：水稻（品種：ヒノヒカリ）

区 制：1区 18～28頭 2反復

処理方法：圃場内のスクミリンゴガイを捕獲し、同一圃場内の縁部にあたる湛水部分で1頭あたり1粒を与え、摂食させた。摂食後、スクミノンまたは対照薬剤Aを供試し、異常行動を起こした貝を回収し、50cm×50cmの容器（※1）に移した。また、ベイトが殻の中に入り込まないように、異常を呈して摂食しなくなった時点でベイトを除去した。※1：50cm×50cmの容器とは、水稻除草剤試験時に用いるプラスチック製の無処理枠であり、枠を圃場内に設置後、貝の逃亡防止用に3mmメッシュの網で上部を被覆したものと示す。枠内の水深は3～4cmを維持した。

調査方法：処理後経日毎の状態（健全、異常、死亡）を調査。異常個体は殻の中に閉じこもって動かないか、異常行動を呈する個体とした。

試験実施：サンケイ化学(株)

使用上の注意事項

- 本剤は稻苗の柔らかい時期に加害するので、は種後又は移植後、被害発生前に散布してください。
- 本剤は湛水状態で均一に散布し、散布後7日間は落水やかけ流しはしないでください。
- 水田以外には絶対に使用しないでください。**
- 発生が多く認められる場合、登録の範囲内の多めの薬量で使用してください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次のことについてください。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布は散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 事前に本剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整し、ほ場の端から5m離れた位置から散布してください。
 - 風向き、風の強さには注意し、できるだけ風の弱い時間に散布してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の動植物等、諸物件へ影響を与えないよう散布区域の選定に注意するとともに、散布区域周辺の諸条件にも十分留意してください。
 - 薬剤が水源池、飲料用水、養殖池、養魚田などに飛散・流入しないように十分注意してください。
 - 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ・使用後の空の容器はほ場などに放置せず、安全な場所に適切に処理してください。
 - ・使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し、タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に、初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は、農薬用マスクなどを着用してください。使用後は、うがいをしてください。
- 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が多量に食べると死亡するおそれがあるので、食べる可能性のある場所での保管及び使用はしないでください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管してください。

★ 使用前にラベルをよく読んでください。

★ ラベルの記載以外には使用しないでください。

★ 使用後の空袋は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理してください。

★ 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



J A グループ

農 協



経済連



サンケイ化学株式会社

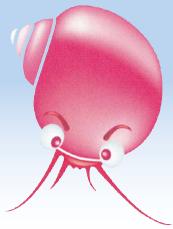
本 社 鹿児島市南栄2丁目9

☎ 099-268-7588

九州北部営業所 佐賀県鳥栖市曾根崎町1154-3 ☎ 050-3508-7912

宮崎事務所 宮崎市神宮東3丁目6-19 ☎ 0985-25-7051

ジャンボタニシ防除剤 スクミノン® の上手な使い方



おすすめの使用方法

処理量 **2kg/10a***、**全面散布** 推奨。散布後は **湛水管理**。

【1回目散布】

田植え同時 または **田植え直後** に散布しましょう。

ジャンボタニシは田植え後すぐに摂食を開始します。

【2回目散布（発生の多い場合）】

圃場内の発生状況を観察しつつ、防除が必要と感じた際に

2回目の散布を行ってください。1回目散布の **1週間から**

10日程度経過した頃を目安 行うことをおすすめします。

* 1kg/10aは少発生時、3~4kg/10aは多~甚発生時を想定した登録内容
となっておりますので、圃場密度を確認し、散布量を調整してください。

全面散布して湛水状態を保つ！

① まずは圃場内に生息する個体群を防除！

田植え同時もしくは田植え直後に全面散布することで、圃場全体の密度を低下させ、被害を抑えます。薬剤散布後はすみやかに入水してください。

② 圃場外からの侵入個体を防除！(2回目の散布)

水口または隣接圃場から入ってきた個体や大雨によるオーバーフローによって側溝等から侵入した個体群を防除します。(使用回数制限内で)

※本剤は水中でジャンボタニシを誘引し、摂食させることで効果を発揮します。薬剤散布後は湛水状態を維持してください。落水状態では効果が十分に発揮されない場合があります。

現地レポ

多発生圃場における田植え同時散布後の状況



甚大な被害により、大半の稻が
加害された状態 → 植え直し



スクミノン (2kg/10a) を全面1回散布
(田植え同時) 欠株がほぼ無い状態

ジャンボタニシの防除に苦慮されている方必見！

浅水（落水）管理による溜まり水への部分散布や、外周部のみの部分散布では、本剤の力を十分に引き出せていません！



落水管理中に降雨があり、水溜まりができるところを加害された状況（写真）

▼浅水管理を行い、溜まり水の部分だけに薬剤を散布した場合、その中にいる個体は防除できますが、溜まり水に到達できなかった多くの個体は一旦土壌中に潜り、降雨によって水が溜まった際、もしくは、入水した際に再び表面に出て来て加害を始めます。

▼外周のみの散布についても同様です。特に大きな圃場においては中央部付近でも低くなっている部分（深水になりやすい部分）は被害が出やすいので、全面散布することをおすすめします。



ジャンボタニシは水がないと土壌中に潜ります！

ジャンボタニシに対する効果だけでなく、浅水（落水）管理を行うと水稻除草剤の効果が不安定になります。湛水状態を保つことは除草効果を維持することにも繋がります！

行動抑制型のジャンボタニシ防除剤との前後散布に注意！

スクミノンを散布する前に行動抑制型の薬剤（有効成分を水中に溶出させて効果を発揮するタイプ）を処理すると、スクミノンの効果に影響を及ぼす場合があります。

行動抑制型の薬剤の使用により、ジャンボタニシが殻に閉じこもった状態でスクミノンを使用しても、誘引・摂食といった本来の効果を発揮することはできません。

それらの薬剤と体系防除を行う際は、スクミノンを先に散布し、十分に効果を発揮した後で行動抑制型薬剤の使用をおすすめします。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



J A グループ

農 協



経済連

全農は登録商標 第4702318号



サンケイ化学株式会社

本 社 鹿児島市南栄2丁目9

☎ 099-268-7588

九州北部営業所 佐賀県鳥栖市曾根崎町1154-3 ☎ 050-3508-7912

宮崎事務所 宮崎市神宮東3丁目6-19 ☎ 0985-25-7051